

2014. 12. 18

日建連中長期ビジョン中間とりまとめ公表

(一社)日本建設業連合会は、総合企画委員会を中心に検討を進めている中長期ビジョンの中間とりまとめを公表いたしました。

今後、引き続き検討を深めるとともに、関係する団体・有識者等の意見を聞いて、来年春に最終とりまとめを行う予定としております。

● 特徴

今回のビジョンは、日建連が過去に作成したビジョンとは以下の点が異なっております。

- 中長期ビジョンの対象を会員企業に限定せず、建設業全般を対象としている。
- 検討は、総合企画委員会を中心として日建連全員参加型とし、会員各社、各委員会、各支部の意見も反映。

● ビジョンの構成

- 第Ⅰ部では、2050年の超長期のパンを見据えて、人口減少と高齢化、巨大災害の切迫・インフラの老朽化、エネルギー・地球環境問題の深刻化など、6つの環境変化を踏まえ、「建設業のあるべき姿」について、以下の3つの視点で将来像を提示。

①建設業の役割【21世紀の歴史をひらき、文化をつくる】

②業界全体の姿【国民と共に歩み、地域と国を支える】

③企業の在りよう【持続的成長可能な経営を実践し、国と世界の発展に貢献する】

- 第Ⅱ部では、2025年に向けて建設業に期待される役割を果たすうえで懸念されている担い手不足（特に若年層の減少）に対する対処方策 — 健全な「建設力」の実現の道筋を提示。

- 検討の前提となる建設市場や担い手不足の規模等の数値データについては、最終報告までに提示。

【日建連中長期ビジョン中間とりまとめ 目次】

タイトル：建設業の長期展望 — 国民と共に歴史を歩む —

序 ビジョンの策定にあたって

1. 策定の背景
2. 策定の趣旨

第Ⅰ部 2050年を見据えた建設業への国民の期待とあるべき姿

1. 時代の潮流・課題と建設業に期待される役割
2. 我が国建設業のあるべき姿
3. これからの国土づくりに期待されるもの

第Ⅱ部 2025年を見通して建設業に期待されている役割とそれに応える健全な「建設力」実現の道筋

はじめに 2025年に向け建設業に期待されるもの

1. 2025年までの建設市場の見通しと必要になる労働力の推計
2. 2025年に向けた健全な「建設力（仮称）」実現の道筋
3. まとめ

むすび 誇りと希望の持てる魅力ある建設業を目指して

問い合わせ先

(一社)日本建設業連合会(担当:河合)
Tel. 3553-0703 (企画調整部)
東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館